

第2回戦略会議レポート

2019/7/16 湯沢町役場



議題① 各WGから進捗報告

【食文化WG(岩佐座長)】

第2回魚沼食の学校開催(7月10日11時~里山十帖)。
 第一部 まつえんどん・(株)いせんの取組発表。
 第二部 美味しい料理には哲学(わけ)がある。
 * 料理人と生産者の取組について。
 * 食事が美味しいランキングで新潟が昨年9位→4位！
 食の美味しい地域として認知されてきているのでは。

【スノークントリートレイルWG(湯沢町 角谷主事)】

第4回は直前の確認と情報共有、次回は中間報告を行う。
 今後の課題はコースを利用したツアーの企画を検討していきたい。雪国文化WGとの勉強会を行いたい。

【観光協会連携WG(湯沢町観 大口事務局長代理)】

今月中に共通表示での販売開始。今後充実させていく。
 販促の検討ではわかりやすく・早めに・共通チラシ・カテゴリー分け・エージェント向けなど検討された。イベントカレンダーを作る。県で掲載している内容と市町村の情報の共有ができて1つの入力で両方反映されたらよい。

【ブランドWG(ブランドマネージャーフジノ氏)】

雪国文化の特集で夏号は縄文に特化。秋号は文学から見えてくる雪国の特徴。雪国の言葉図鑑(wikipediaじゃなくyukikipedia)を纏める。雪にまつわる言葉を列記し、グルーピングしながら内容を詰めた。擬音(オノマトペ)や地域の知恵の言葉ができたのでそれに沿ってデザインチームと秋らしくまとめていく。

【女性コーディネーター研究会:細矢座長】

* アカウント: 7snowqueen (Facebook・Instagram)
 雪と旅の冊子に縄文グッズを掲載。FacebookとInstagramも情報発信している。

雪国観光圏の理念

『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出す。

雪国観光圏のブランドコンセプト

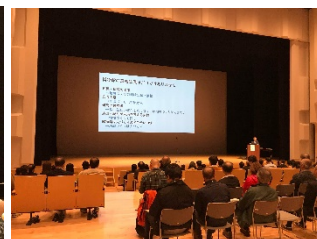
『真白き世界に隠された知恵に出会う』

議題② 令和元年度採択事業

- ・3P目マーケティング調査事業で、去年400→今年500以上を目標に宿泊施設に協力依頼を。
- ・5P目13観光圏とアライアンスを組んで世界に発信するUndiscoverd Japan事業。
- ・6P目インバウンドコンテンツ商品造成事業はシンガポール向け、欧米FIT向け商品造成を行う。
- ・7P目英語版ブランディングブック作成事業。昨年は英語のガストロノミーのブランディングブックを作ったが、今年は国民文化祭にあわせてスノークルチャーの英語冊子を作る。
- ・8P目越後湯沢と松之山温泉をむすぶ欧米向けのバス事業と商品開発事業。財源は1P全額補助、2P 1,2は推進協、3は湯沢町、4はスポンサー企業と協力金、5は松之山温泉まなまや関係者で確保。

議題③ 信越県境地域づくり11/15

第一部はしっころぼ、第二部基調講演&トークセッション。テーマは雪国文化と地域づくり。第三部情報交流会。
 モデレーター: 井口智裕・コメンテーター: DiscoverJapan高橋編集長、パネルトーク(十日町市博物館長、HOMEaway from HOME Niigata井比代表、女性事業者)。



議題④ 一橋大学フィールドワーク

地域づくりの現場で提言をするような1泊2日の合宿で去年は魚沼市で開催、今年も雪国観光圏をフィールドに約40名が来る。学生が自分で資源を見つけ研究するので5グループほどにわけて1組5Max8名位で10月に実地研修を行いたい。窓口を募集している。



議題⑤ (株)ブリッジにいがた からの提案事項

4月1日に設立した地域商社。第四銀行本店内に本社を構え、社員は約10名。ブリッジにいがたは第四銀行東京支店(日本橋)の1階に催事スペースがあるが、10月1日以降から直営の県産品販売スペースとして利用していく予定。販路開拓、生産性向上、観光振興と3つの事業を柱にしているが、販路開拓では物産展を開催して販売したり、商材を集めて県外海外に出す支援をしている。生産性向上についてはRPAロボットを使った作業を軽減するような支援をしており、第四銀行でも2~3年前に導入し労働時間短縮を行っている。観光振興は自治体やJTB、HISに訪問しながら策を練っている。【別紙資料】



①QRトランスレーター案内・多言語情報サービス 39か国語に変換可能。非常時防災マニュアルなどが表示され、多言語のツールとしてご利用いただいている。

②キャッシュレス ALIPAY WeChat Pay JACCS

③観光プログラムの販売支援。旅行業はないが、日本橋に拠点を設けネットワークもあるので都内での法人向営業や従業員向の旅行商品や既存商品の提案も行っていきたい。物販も単なるアンテナショップではなく都内の飲食店やバイヤーに出向き商談も進めていく。新聞記事について、野村證券のビル内で行われ物産展で1日300万円ほど売り上げがあった。観光情報や既にある商品を提示することも可能なので魅力を発信していけたらと思う。

その他、ディスカッション

【2次交通について】

大口事務局長代理:2次交通WGの方へ、路線バスの停留所でコードをアナウンスしているようなので詳細を共有いただけたらお客様に紹介できる。圏域内に広がってもいいと思うので、情報提供を。

【大学生の受入について】

十日町市樋口課長:一橋大受け入れの話では、去年は雪国観光圏の枠組で今回はそれぞれの市町村が窓口という話だったが、市町村は引き受けるとなったら何をするのか。

→井口代表理事:日観振の寄附講座1コマは井口が担当し雪国観光圏でフィールドワークを行う。市町村では宿泊料を頂き、窓口やアテンドをお願いしたい。悩んでいる方々を繋いで解決できないか。

→細矢MG:去年は魚沼市の室長と担当者を窓口を受け入れを行った。炭火焼やきのご狩り、目黒邸、食事処、只見線活性化の話を理解頂き課題を抽出して課題解決のために学生に議論してもらいフィードバックを受けた。今回は他の市町村にも出向きたいという依頼があったので、視察の受入対応をみなさまをお願いしたい。

→井口代表理事:ホームステイの受入先というイメージ。企画提案をするのが授業のカリキュラムなので出来上がった物を体験するというよりは、学生が調べて悩んで手間をかけさせたい。十日町のトオコンに近い形。

→魚沼市観光協会星事務局長:魚沼市もこれから売り出しをしようという体験メニューについて体験してもらった。宿は何軒かに分宿した。学生に見てもらって意見ききたいのがあれば手を挙げてみるとよいのでは。

→細矢MG:40人だと団体行動なので去年も4グループに班分けをした。観光協会が地元のパイプや人脈があるのでお願いしたい。



【その他 11月15日の会議変更とシンポジウムの連絡】

第4回の11月15日の日程で、十日町情報館で交流会が実施されるので、戦略会議の時間変更(午後から午前に)をお願いいたします。11月15日は午前中戦略会議、午後シンポジウムがありますので皆様ご参加を。

*次回戦略会議は10月29日(火)湯沢町役場3階大会議室にて13時30分より開催。

連絡先:湯沢町役場産業観光部
新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立300番地
TEL025-784-4850 FAX025-784-3582